

## 高次脳機能障害リハビリテーション学特論

[講義] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 中川賀嗣 poverame@hoku-iryo-u.ac.jp 若松千裕

### 【概要】

高次脳機能障害は、大脳の機能的構造に由来した多くの特徴を有する。この高次脳機能障害の各症状を文献や症例を通じて学び、理解を深める。

### 【学修目標】

一般目標：高次脳機能障害の各症状の発現機序と特徴を説明できる

1. 視覚性物体失認の亜型を分類することができる
2. 視覚性物体失認の各亜型の発現機序と特徴を説明できる
3. その他の視覚性失認の発現機序と特徴を説明できる
4. 聴覚失認の発現機序と特徴を説明できる
5. 触覚失認の発現機序と特徴を説明できる
6. 道具の使用失行の発現機序と特徴を説明できる
7. パントマイムの失行の発現機序と特徴を説明できる
8. その他の失行の発現機序と特徴を説明できる
9. 各記憶障害の発現機序と特徴を説明できる
10. 各前頭葉機能障害の発現機序と特徴を説明できる
11. 各認知症性疾患の症状の特徴を説明できる

行動目標：高次脳機能障害の各症状の検査を実施することができる

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～8	高次脳機能障害（失認、失行ほか）について学ぶ	血管障害、大脳変性疾患等による高次脳機能障害の各概念、症状等について学ぶ	中川賀嗣
9～15	高次脳機能障害（認知症、記憶障害、前頭葉機能障害ほか）について学ぶ	脳血管障害、神経変性疾患における高次脳機能障害の概念、症状、評価法などについて学ぶ。	若松千裕

### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

講義でさなれる討論の結果に基づく（討論の内容50%、作成資料の内容50%）

### 【教科書】

文献資料を各自準備して行う

### 【学修の準備】

予習：文献の読み込み等を十分に行う（80分）

復習：各高次脳機能障害の特徴をケースレポートなどから判別できるように復習する（80分）

### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

リハビリテーション領域における臨床的課題に対し、医科学・心理学・社会福祉学などの学際的視点を取り入れながら科学的に分析・解決する能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

### 【実務経験】

中川賀嗣（医師） 若松千裕（言語聴覚士）

### 【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく講義を行う。